

# 第5回 かながわ観光大賞 公開プレゼンテーションを実施します

このたび、「第5回かながわ観光大賞」の二次審査として、公開プレゼンテーションを実施することとなりましたので、お知らせします。

かながわ観光大賞審査委員会による一次審査（書類審査）の結果、応募のあった13件のうち、以下の9件がプレゼンテーションを行います。

1 開催日時 平成 26 年 11 月 5 日（水）15 時 00 分～16 時 30 分（予定）

2 会 場 神奈川県庁 新庁舎 5 階 第 5 会議室

3 プレゼンテーションを行う応募者・取組の名称（9 件）

## 【魅力ある観光地づくり部門】

応募者名	取組の名称
金太郎のふるさと会	金太郎のふるさと里山ツアー
（一社）小田原市観光協会	忍者諸君集結せよ！忍者の里『風魔まつり』

## 【観光による地域活性化部門】

応募者名	取組の名称
（有）笹生農園 レストラン栗の里	年間 900 種 1200 株の草花が植栽されるオープンガーデンのノウハウを活用した花と緑の観光まちづくりと地域活性化活動
日本大通り活性化委員会	日本大通りにおける賑わい形成や活性化のための文化事業の実施
東海道かわさき宿交流館	「東海道かわさき宿交流館」
東日本旅客鉄道(株) 横浜支社	横浜線活性化と沿線の魅力発信

## 【外国人観光客部門】

応募者名	取組の名称
(株)さつまや	旧東海道 藤沢宿 老舗寿司屋 板長主催「プロの寿司職人が教えるバイリンガル寿司教室」
(株)ルーツ	旅うらら 神奈川ガイド MAP - 英語版 -
江ノ島電鉄(株)	江ノ島電鉄と台湾鐵路管理局の観光連携協定に基づく台湾・平溪線と乗車券交流キャンペーン

各取組の概要は、別紙「第5回 かながわ観光大賞 公開プレゼンテーションを行う応募者・取組概要」をご参照ください。

#### 4 傍聴について

##### (1) 傍聴受付

- ・受付場所 神奈川県庁 新庁舎 5階 第5会議室前
- ・受付時間 平成26年11月5日(水)14時45分～16時30分の間 随時  
プレゼンテーションは入れ替え制で行います。入れ替えにあわせて入退出が可能です。

##### (2) 傍聴の定員 10名(傍聴希望者多数の場合は、先着順)

#### 5 かながわ観光大賞審査委員会(5名)

敬称略

委員長	神奈川県知事		黒岩 祐治
委員	(公社)神奈川県観光協会	会長	斎藤 文夫
	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	専務理事	石井 洋一
	神奈川県旅館ホテル生活衛生同業組合	理事長	鈴木 茂男
	かながわ観光大学推進協議会	会長	山口 一美

#### 【備考】

- ・公開プレゼンテーション終了後、審査委員会(非公開)を開催し、受賞者を決定します。
- ・受賞者の発表は、表彰式の開催のご案内とともに11月中下旬を予定しています。

#### 問い合わせ先

神奈川県産業労働局産業・観光部観光課

課長 太田 電話 045-210-5760(ダイヤル)

観光企画グループ 諸星 電話 045-210-5765(ダイヤル)

第5回 かながわ観光大賞  
公開プレゼンテーションを行う応募者・取組概要

別紙

【魅力ある観光地づくり部門】

NO.	応募者名	取組の名称
1	金太郎のふるさと会	金太郎のふるさと里山ツアー
<p>「金太郎のふるさと会（平成18年1月設立）」は、金太郎のふるさとと言われている地蔵堂集落（南足柄市）の豊かな自然の中でゆったり暮らしているおばあちゃんたちを中心に活動。手作り漬物・惣菜の販売などを行うとともに、金太郎の健康的なイメージを重ねた収穫体験や学習体験などの里山ツアーを企画・実施している。テレビや新聞にも紹介されて大きな反響があり「金太郎のふるさとでおばあちゃんたちが活躍している」ことが県内外で広く認知されてきている。</p>		
2	（一社）小田原市観光協会	忍者諸君集結せよ！ 忍者の里『風魔まつり』
<p>戦国武将北条氏に仕えた忍者・風魔一党、頭領である「風魔小太郎」が最近、漫画やゲームのキャラクターとして登場したことで、知名度が高まっている。そこで、「風魔忍者の里」を小田原市の観光振興に活かそうと、新たな観光まちづくりの取組を開始。24年度に「忍者サミットin小田原」を開催し、伊賀、甲賀、風魔の三者で「忍者の里共同宣言」を発表。26年度は、市最大のまつり「北條五代まつり」において「天下一忍者決定戦」を開催するとともに、新たに夏に忍者の里「風魔まつり」を開催。小田原の観光客はシニア層が多い傾向にあるが、「風魔まつり」ではファミリーの姿が多く、また外国人の姿も目立つなど、新たな観光ターゲットの発掘に繋がるものと期待されている。</p>		

【観光による地域活性化部門】

NO.	応募者名	取組の名称
3	(有) <sup>さそう</sup> 養生農園 レストラン栗の里	年間900種1200株の草花が植栽されるオープンガーデンのノウハウを活用した花と緑の観光まちづくりと地域活性化活動
<p>「レストラン栗の里」は、バラを中心に年間900種1200株の草花が植栽されるオープンガーデンを併設し、年間6万5千人が来場する厚木の新しい花スポットへと成長した。その花と緑の集客ノウハウを生かし、「相模川ローズガーデンアドバイザー」や「厚木中学校花と緑のまちづくりアドバイザー」として、花や緑の植栽や市内美化活動の取組をサポート。関係各所と幅広く連携して、花と緑を活用した観光まちづくりを展開し、厚木中心市街地の活性化に貢献している。</p>		
4	日本大通り活性化委員会	日本大通りにおける賑わい形成や活性化のための文化事業の実施
<p>日本大通りの景観を守り、市民に愛されるストリートとして維持することに努めるとともに、日本大通りに多くの人々を呼べる事業を開催している。          オープンカフェ事業：広い歩道空間を活用し、現在2店舗で展開。          イルミネーション事業：横浜でも有数のイチョウ並木を活かし、平成20年から夏と冬の年2回開催。          ウエイターズレース：ホテルやレストランで働くウエイターが各店舗の正装をまとい約300メートルのコースをトレイにボトルとコップを乗せて走りぬげ、速さと優雅さを競う。各メディアにも多数とりあげられ注目されている。</p>		
5	東海道かわさき宿交流館	「東海道かわさき宿交流館」
<p>東海道川崎宿の名残をとどめたいという市民の要望、寄付を受け、東海道の歴史を活かしたまちづくりの拠点として、平成25年10月にオープン。「資料館」的なイメージを離れ、気軽に立ち寄って楽しんでもらえるよう、展示・演出等に工夫を加えるとともに、ガイド協会の協力も得て運営している（入場料無料）。街道歩きのブーム、東海道に面した立地という好条件もあり、開館から10か月で5万人が来館。神奈川県「東海道まち歩き観光」の入口として人気を集めるとともに、羽田空港から近い「日本的な空間」として外国人観光客の誘致にも貢献している。</p>		
6	東日本旅客鉄道(株) 横浜支社	横浜線活性化と沿線の魅力発信
<p>「人にやさしい車両」をテーマとした新型車両「E233系」の導入を契機に、横浜線沿線の魅力発信やサービス向上などに向け各種施策を実施している。          ・案内サインの整備：デザインの統一化、「乗換案内板」の整備          ・神奈川県出身のAKB48「チーム神奈川」を起用した宣伝展開、記念乗車券の発売（計10,000セット）          ・横浜市と地産地消に関する協定を締結し、マルシェを2駅（鴨居駅、橋本駅）で開催          ・スマートフォンで位置情報を取得しながら駅からはじまるウォーキングコースを歩く「えきぼ」の横浜線全駅（20駅）の設定</p>		

【外国人観光客部門】

NO.	応募者名	取組みの名称
7	(株)さつまや	<p>旧東海道 藤沢宿 老舗寿司屋 板長主催「プロの寿司職人が教えるバイリンガル寿司教室」</p> <p>世界遺産に登録された「和食」の代表格である「寿司」を老舗寿司屋でプロの寿司職人とその妻、バイリンガル若女将が教える寿司作り体験。日本人と外国人が共に日本食文化体験を行い、実体験から得る喜びや楽しさを共有する。外国人は、外国人専用ツアー等では経験出来ない日本人との文化交流により日本に対する理解を深め、神奈川への再訪、また自国でのプロモーション等に繋げていただくことを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者実績：国内外26か国、延べ約3,000人(2013年約700人)が参加 (2009年3月～現在)</li> <li>・指導言語：若女将が英語で指導。中国語通訳有り。</li> <li>・テレビ、ラジオ、新聞、タウン誌等のメディア登場回数は開講以来、合計約70回。</li> </ul>
8	(株)ルーツ	<p>旅うらら 神奈川ガイドMAP - 英語版 -</p> <p>日本語表記の「旅うららガイドMAP」は、10年前に横浜版を創刊し、現在、横浜版、鎌倉・湘南版、小田原・箱根版の3版を発行。英語版の発行にあたり、外国人観光者にとっての見やすさや必要な情報を追求。MAPと観光情報、おすすめ店情報をコンパクトにまとめ、持ち歩きに使いやすいよう工夫するとともに、観光者に便利なアクセス情報や日本のワンポイントマナーも誌面に盛り込み、ほしい情報に手が届く“使えるガイドMAP”を目指した。設置・配布場所については、空港のインフォメーション等外国人観光者が最初に立ち寄りやすい場所、案内の多い場所を中心に約300か所まで拡大し、好評を博している。</p>
9	江ノ島電鉄(株)	<p>江ノ島電鉄と台湾鐵路管理局の観光連携協定に基づく台湾・平溪線と乗車券交流キャンペーン</p> <p>2013年4月に締結した観光連携協定に基づき、同年5月より双方で指定した期間に発行された使用済み1日乗車券とパスポートを指定窓口に提示することにより、連携相手の1日乗車券と交換できるという、相互路線の認知度の向上と観光送客を図るキャンペーンを実施。2国間で乗車券の相互交換というユニークな取組は国内外ともに前例がないものであったが、大変好評のため期限を延長し実施中。2014年8月末には双方6,451件の交換件数となった。利用者アンケートでは、20～30代の若年層、とりわけ初来日者が目立ち、今後のリピーター獲得への筋道づくりとなっている。また、台湾でも人気の高い日本のアニメの舞台となった沿岸地域を訪問する旅客も増え、新たな観光地開拓にも寄与している。</p>